

塾長の独り言 NO44 H18.4.3

「桜咲く！ 新人入社式に思うこと」
～～～入社式はだれの為にあるの？～～～

もう 桜は満開ですね。
明日は雨が降るそうですから、東京では今日が見納めか？

4月に入り、入社式が…。私も数社に参加させて頂きました。
又、我が家でも愚息が大学の入学式が昨日ありました。
さて、みなさん、入社式は誰の為にあるのか？
考えたことありますか？
わざわざ、時間とコストを掛けてやる必要があるのか？

「春は冬の中にある！」
冬の間、春の準備をしているから春になり、芽が出て花が咲くのですね。
私が思うに、新人の入社式は誰の為にあるのか？
それは、2年生、3年生、先輩の為にあるのでは？と感じております。
当然、一生に一度ですから、新人達の為でもあります。

しかし、経営という観点で見ると、先輩の2年生や3年生にとっては、自分の成長を実感するチャンスだと感じております。
人間は自分を振り返ることが実務に追われていると見えなくなります。
不思議に2年生、3年生は新人が入社すると一気に先輩らしくなります。
そういう意味で入社式を捉えたらいかがでしょうか？
中小企業でも是非とも入社式をするべきですね。
又、それは一年上、二年上の先輩のためにも
そして大変でも毎年、新人を入社させることは、企業の成長にとっても重要なことですね。

2年生にとっては、一年前の自分を振り返り、モチベーションが上がるチャンス。
経営者はそこに気が付かないともったいない。
「春は冬の中に準備をしている」
一年間、訳もわからず苦勞してきた。だから今があるのだ。
私は新人の入社式にも2年生、3年生も参加させるべきだと思っております。

社会人に入って最初の2年間は、その人の人生にとって重要な期間です。
パラダイム(社風や価値観)に染まる期間です。
新人は素直です。その時が勝負。
企業にとって継続的に成長するためには、新人からの入社2年間でどう教育するか？
「社風」が重要だと言われる訳は、こんなところにあるのでしょうか。

自分自身を見つめ、奮起するには。もっと成長するには。
「入社式」を有意義に活用しましょう